

ポーラが「がんアライアワード」において 4年連続でゴールドを受賞

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、社長：及川美紀）は、がんを治療しながら働く「がんと就労」問題に取り組む民間プロジェクト「がんアライ部」（代表発起人：岩瀬大輔、功能聡子）が発表した第5回「がんアライアワード 2022」で最高位のゴールドを受賞いたしました。ポーラは4年連続のゴールド受賞となります。



◆ポーラの受賞理由（がんアライアワード選考委員会 コメント）

罹患者やその家族、支える方々に寄り添う接客ができるように、全国約100か所のポーラショップ店長向けに「傾聴力」の研修を実施されています。毎年着実にがんと就労に関する取り組みを進化させています。

「がんアライアワード」表彰制度

「がんアライアワード」は、がんを治療しながら働く人を応援する団体を表彰する制度です。がん罹患者の味方「アライ（ally）」であることに加え、がんとともに働きやすい企業であることを宣言し、具体的な取り組み内容から優れた活動を表彰します。また、表彰されたノウハウを社会全体で共有することで、がん罹患者が治療をしながらイキイキと働くことができる社会を目指します。選考会において、各企業の制度および風土を含めて審査を行い、「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の各賞を付与します。2022年は「ゴールド」27社、「シルバー」19社、「ブロンズ」5社の合計51社が選出・表彰が行われました。

ポーラ「がん共生プログラム」

がん共生プログラムは、がんに罹患したポーラで働く仲間が仕事を諦めることなく、「就労と治療」の両立をいかに実現できるかを考え、設計したプログラムです。ポーラ従業員とその家族及びビジネスパートナーである約3.3万名（2021年12月末時点）のビューティーディレクター*に向けて2018年4月より開始し、がんが、より身近なものであるという意識を高める活動を行っています。

【2022年の活動】

◆「フレンドリーアクション」

ポーラ内の活動に留まらず社会への還元を目指し、「がん罹患者とそのご家族に優しい社会を！フレンドリーアクション！」を新たにテーマに加え活動しています。直接お客さまと接するビジネスパートナー「ビューティーディレクター」をアドバイザーメンバーに迎え、ポーラが「がん共生プログラム」を実践する意義、罹患者のお客さまやそのご家族から求められていること、今後の方向性についてディスカッションを実施。その過程を踏まえ、ポーラのショップでできるアクションを中心に独自の教育プログラムを構築し、専門家の指導を取り入れながら研修をスタートしています。

2022年も取り組みを進化させ、4月には、罹患者やその家族、支える方々に対して寄り添う接客ができるよう、マギーズ東京様のご協力を得て、全国約100か所のポーラショップ店長向けの「傾聴力」の研修を実施。10月にも、闘病により変化する肌や体に対して、どのようなケアやメイクができるかなどに対する知識習得の研修を実施しました。

※：全国に展開するポーラのショップの中で、カウンセリングやエステなどをはじめとした美容を通じてお客さまのありたい姿を引き出し価値を提案する、プロフェッショナルな販売員。

【2022年の活動】

◆乳がん罹患者のためのスキンケア・メイクのアドバイス冊子を制作

本年、乳がん罹患された方のためのスキンケア・メイクのアドバイス冊子を制作しました。この冊子は「ピンクリボンのお宿ネットワーク」に加盟している全国100か所以上の宿泊施設へ、7月から配布。

冊子は、乳がん罹患の方たちに、自身の肌や心の変化と向き合いながらお手入れをすることで豊かな時間を過ごしていただけるように、また、メイクをすることで前向きな気持ちになったり、新しい自分を発見して元気になっていただくきっかけになるようにと願い、ポーラがオリジナルで制作しました。洗顔・保湿・UVケア等の基本から気をつけるべきポイント、イキイキと明るい印象に見せるメイク、眉毛が脱毛した場合のアイブローの描き方や帽子・ウィッグに合わせる方法などもイラストとともにご紹介しています。がん罹患者であるお客さまから、多くの喜びの声やお問い合わせをいただきました。



◆「リレー・フォー・ライフ」ナショナルスポンサー

「リレー・フォー・ライフ」とは、アメリカ対がん協会(ACS)が国際ライセンスを持っている企画で、日本では公益財団法人日本対がん協会にライセンスが与えられています。がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧をめざすチャリティー活動です。Save Livesを使命とし、がんの告知を乗り越え、生きていることを祝福し(祝うCelebrate)、旅立った愛する人たちをしのび(しのぶRemember)、がんで苦しむ人や悲しむ人をなくす社会を作る(立ち向かうFight Back)ことをめざすものです。ポーラは2019年よりナショナルスポンサーに就任しています。

◆「リレー・フォー・ライフ」に対する独自募金活動

リレー・フォー・ライフにて、ポーラ独自で複数のショップの店頭で募金箱を設置し、募金活動を実施。12月に日本対がん協会へ寄付を行う予定です。

◆がん対策推進企業アクション 企業コンソーシアム40に選出

国民のがん検診受診率を50%以上に引き上げることを目標に、企業が率先して「がん検診受診」の大切さを呼びかける国家プロジェクト「がん対策推進企業アクション」の中で、コンソーシアムに参加できる先進企業40社に選出いただき、「治療と働く」という企業にとって重要なテーマについて取り組みを開始しています。

【継続して実施している取り組み】

◆相談・サポートできる社内風土や環境づくり

- ・就労サポート制度がまとめられたプログラムブックの配布や、がんに対する基礎知識や最新の活動状況をイントラネットで発信。がんが、より身近なものであるという意識を高める活動を行っています。
- ・社員90%以上が視聴する社内情報動画で、社内のがん共生プログラムの取り組みを定期的に紹介。がんへの理解を深め、罹患しても「就労と治療の両立」をサポートする社内風土を醸成しています。
- ・社内のがん経験者が自身の経験をプログラムブックやイントラネットで公表し、社内で大変な価値として共有しています。がん経験者が自らサバイバーであることを公表することにより、新たに罹患した人が年齢や組織を超えて相談できる体制を整えています。
- ・病院では聞きにくいことや医学用語が難しく罹患者が理解できない場合等は、看護師や保健師が常駐している健康管理センターにいつでも相談できるようにしています。また、セカンドオピニオンを希望する場合は産業医に相談し、本人の希望を聞き適切な病院を紹介する環境を整えています。

◆健康増進・早期発見・治療支援への取り組み

【従業員】

- ・年1回の健康診断時に、がん検診・婦人科検診をワンストップで受診することが可能
30歳以上の女性が受診できる乳がん検診では、マンモグラフィーか超音波検査を自身で選択可能。子宮頸部細胞診と子宮経腔超音波は全年齢に補助。男性の前立腺がん検診も50歳以上に補助。婦人科検診の受診率は約80%
- ・健康増進と意識の向上を目的とし、健康月間を設け、社員食堂で健康メニューを提供
- ・2018年からは、従業員が健康診断の結果をわかりやすく理解できるように専用のwebサービスを導入。定期的な情報提供とフィードバックを行っています。
- ・傷病短時間勤務制度：1日最短4時間を所定労働時間として勤務が可能
- ・時間単位有給休暇制度：1時間単位で有給休暇の取得が可能
- ・傷病退職カムバック制度：退職から最大2年間まで、退職時と同様の社員区分にて再入社可能
- ・フレックスタイム制：コアタイムの前後は、原則として自由に出退社ができる制度
- ・リモートワーク：全従業員を対象とした制度。通院のある日、治療の副作用による体調不良の時などにも使用可能
- ・復職後の有給休暇が早期に付与される制度により、従来よりも早期に有給を付与。治療しながらワークライフバランスを考慮した就労が可能です。

【ビジネスパートナー】

- ・ビューティーディレクター(ポーラ福祉共済事業団会員※1の約1万人対象)に対しては、がん検診にかかる費用の一部補助。
- ・ビューティーディレクターを束ねるブランドオーナー※2に対して、総合健診を全額会社負担。
- ・ビューティーディレクターの収入を一部サポートする制度を設け、がん治療で長期間販売活動ができなくなった場合でも、安心して治療を受けられ、復帰しやすい環境を整えています。
- ・ポーラ福祉共済事業団会員を対象とした、復帰・両立サポートに新制度を導入。
個々の状況に応じてがん治療の初期費用の一部を補助する「治療応援金」や、治療による外見変化に対する費用を一部補助する「アピアランスサポート」など、スムーズな復帰を後押ししています。

ポーラ がん共生プログラム

<https://www.pola.co.jp/company/sustainability/economy/cancer/index.html>

※1：ビジネスパートナーの互助組織

※2：各地域で、ポーラの複数のショップを取りまとめ、年商1億円以上のグループをマネジメントする最上位職。



ポーラは、新体操ナショナル選抜団体チーム・新体操個人日本代表「フェアリー ジャパン POLA」のオフィシャルパートナーです。

POLA